

実践③ 出水市立大川内中学校

1 はじめに

本校は出水市東部に位置し、伊佐市との市境にある山間部の学校である。山間部の大川内地区と標高約500mの上場地区の大きく二つに分かれる。市街地から15分程度という距離にありながら、過疎化が進んでおり、高齢化率も50%以上と高い。そういった中で、学校は地域を明るく、元気づけるような存在になっている。

生徒数は、昭和30年代には400人を超えていたが、現在の生徒数は28人。出水市が設けている特認校制度の学校で、校区外からの通学生（特認校生）が13人いる。現在3学級であるが、特認校生の動向によっては今後複式学級になることも考えられる状況である。

2 活動の実際

(1) 図書室設営の工夫

ア 季節や行事、授業内容に合わせて、テーマを決めての設営やポップの展示。

イ 新刊書を購入した際の本の紹介、時事に関する新聞記事等の紹介。

ウ 生徒がリラックスできるスペースの確保。

(2) 「図書だより」の発行

- ・ 毎月1回発行。新刊書の紹介や時期に応じたおすすめの本の紹介。生徒文芸サークル「ハッピー☆クローバー」の活動の紹介などを掲載。

(3) 朝読書

ア 毎日実施（火曜日を除く） 8:15～8:25

イ 木曜日は担任・副担任も一緒に読み、音読に取り組んでいる。

(4) おすすめの本の紹介

- ・ 生徒会学芸部を中心に4月末～5月に実施。本の紹介だけでなく、紹介された本について他の生徒もその本を読んで感想を書く。

(5) 大中読書マラソンの実施

ア 読書月間に合わせて、毎年10月に実施。1回で3冊まで貸出ができる。

イ 多読者については、11月に表彰を実施する。

(6) 親子読書リレーの実施

- ・ 各学年ごとに、指定した本を生徒及び保護者が読み合って感想を記入。その本と感想を学級でリレーしていく。

(7) 保護者への図書室の開放

- ・ 保護者用貸出カードを作成し、保護者への図書室の本の貸出を行っている。

(8) 市移動図書館来校時の呼びかけ

- ・ 2か月に1回、昼休みの時間帯に市の移動図書館が来校する。前日までに来校を知らせ、貸出カードの持参を呼びかける。当日も呼びかけを行う。

(9) 年間多読者（大中読書王）の表彰

- ・ 年間を通して最も多くの本を借りた生徒を表彰する。



【おすすめの本紹介】



【親子読書リレー感想】

3 本校独自の活動

市の「読書活動日本一のまちづくり」に基づき、本校でもその推進を図ると共に、独自の活動にも取り組んでいる。

平成24年度5月、文芸サークル「ハッピー☆クローバー」を立ち上げる。発足時は4人、現在は10人で活動中である。

〔ハッピー☆クローバーの主な活動内容〕

- (1) 朝読書での絵本の読み聞かせ
- (2) 自作童話、紙芝居の作成
- (3) 文化祭での発表（ペープサート、パネルシアター）
- (4) 市読書推進課と連携してのボランティア活動への参加（ブックスタート、セカンドブック事業）
- (5) 出水市「おはなしわくわくフェスタ」への出演及び運営ボランティア、出水市「読書活動日本一のまちづくり推進大会」での発表
- (6) 生徒会と連携しての老人福祉施設でのボランティア活動、クリスマスコンサートの開催
- (7) 保育園との交流授業（家庭分野）における読み聞かせの実施
- (8) その他（音楽関係の活動）



【朝読書での読み聞かせ】



【市セカンドブック事業】

4 おわりに

(1) 成果

- 平成28年4月、「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣賞、平成29年2月、「県いきいき教育活動表彰」をハッピー☆クローバーが受賞した。
- 読書量が、少しずつではあるが増加傾向にあり、年間を通して数冊の貸出だった生徒が10冊以上借りるようになっている。
- ハッピー☆クローバーによる絵本の読み聞かせを通して、絵本の良さや文章を丁寧に読むことの大切さへの意識が出てきた。

(2) 課題

- 読む生徒と読まない生徒との二極化が見られる。
- 図書室の開放についての問題
 - ・ 司書補（学校図書事務員）が小学校との兼務のため、不在時の図書室の開館をどうするかを早急に検討する必要がある。
- ハッピー☆クローバーの活動の充実
 - ・ 特認校生徒の下校時刻は16時37分のバスになるため、昼休み等にできるだけ活動するようにしている。読み聞かせの練習や自作童話の作成、ペープサートの作成などに取り組んではいるが、常時活動の時間をどう確保するかという課題がある。
- 親子読書リレーの充実
 - ・ 保護者の読書に対する姿勢にもやや差が見られる。そのため、親子読書リレーが最後の家庭に回るまで時間がかかってしまうことがある。



【子どもの読書活動実践表彰】